

穢 れ た 偶 像



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

ヴィーナス
アーク

巨大客船そのものが
ひとつのアイドル学園
という
驚くべき場所

ここで私は清掃員として
働いている

長らく女性と触れる
機会のなかった私に

この学園は
楽園だった

可愛い

可愛い

そこらじゅう
可愛い女の子
だらけだ

アイドル学園だから
当たり前ののだが

そんな楽園で
ある日私は

あの…
すみません

彼女に
出会ってしまった

一目で
惹かれた

全てを
吸い込んで
しまいそう
なその瞳に

ああ彼女は最近
入学した
双葉アリアさん
だよ

ステージ映像
よかつたら
見てみるかい

お願い
します

圧巻された

ドレスをまもって
舞う彼女の
あまりに人間離れ
したその姿は

妖精か

女神か

美しい

尊い

まるで幻想の世界の
住人かと思った
ほどだった

そういった
感情と
ともに

この神聖な
存在を
ドロドロに
汚りたい

そんな
どす黒い
欲求が
沸き起
こった







も...もつと
気持ちよく
してあげる
からねえ

クニ

ダメです
そんなところ
きたな...っ

ふあっ

ちゅ

だっ

ダメっ

ドクッ

あっ

クニ

ちゅ

ひやあっ

ヌッ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

アリアちゃんの
おっぱい...!!
おっぱい...!!

ふあっ

あっ

なっ なんだか
へんっ

やっ へんに
なっ ちやいますっ

き 気持ちいいのかいっ
アリアちゃんっ
ははっ
感じやすいんだねっ

イけっ

イっ
ちやえ

ちゅ

ひやあ

カニ

カニ

カニ

ふっ



あ...あ...っ
おなかに...っ

へんなものが
入ってます...っ

う...っ キツっ...
ああ...
ついにアリア
ちゃんに妖精
おまんこに...っ

キキキ...



はうう...っ!?

アキキ



あっ



いたい...
いたいです...っ



おじさんアリア
ちゃんに初めて
の相手になっちゃったよ...!!
アリアちゃん...っ

あっ血が...
ごめんね...
...



大丈夫...っすぐ気持ちよくなれるからっ

はっ...はっ...

あっ
あっ...っ
です...っ

感じやすい子だ...!

はは...っなんて

そっっダメですうっ

やあっ



あゝ
はわ…っ

わたしっ
へんですっ

おんっ

おんっ

おんっ

おんっ

あアリアちゃん…っ
ホント可愛いね…っ

…っ
このまま膣中に
出すからねっ



えっふえっ
出すって
…っ?



おんっ
おんっ

おんっ

あゝ

おんっ

あゝ

ふゝ

ひゝ

アリアちゃんこの
妖精おまんこに
きつたない精液
たくさん注ぐ
からねっ

おんっ

おんっ

おんっ



あ…
アリマちゃんっ！

はあ…
はあ…

ドッ
ゴッ

ドッ
ゴッ
ドッ
ゴッ



一線を越えてしまった…



はあ…
ふあ…
おまたが…
じんじん…
します…

はあ…
はあ…



はあ…
はあ…

ドッ
ゴッ

ドッ
ゴッ

その日の夜は
絶えず苛む罪悪感のおかげで
一睡もできなかつた

だけど

あつ…

あアリアちゃん…
その体調の方は
大丈夫…？

彼女と再び対面した時

私の中の罪悪感は…

はい…

あの…

あのひと時に感じた
高揚感に

ね

また
「お願い」できる
かな

容易く
かき消されてしまった

それじゃ…また
アリアちゃんのおまんこ
おじさんのせーえきで
いっばいにしてあげるからね…っ

おじさんの
赤ちやん産んでね…
アリアちゃんっ

わっ
はっ



あっこれっ
しゅんっ

はっ
はっ

アイ…っ
アイ
ですうっ

はあ…
はあ…っ

はっ
はっ

アリアちゃん…っ
イクよっ!



妖精のような彼女が
快楽に淫らに溺れる
姿を見るのは

ま…まだまだ
やるよ
アリアちゃん…

汚いものに
染まっても
見るのはいく姿を

ほよ…

は…はい…

もっとな…

もっとな
です…♥

それほど
までに

私の心を
満たしたから
くれたから

ある冬の夜。

今日もアイカツ
ががんばって
ぐっすりだね、
アリアちゃん……

ニコシ

オラッ
プレゼントだ
にがいのちで
ひとくちめっ
飲みこめっ！

ジュジュッ……

ふい

すごい……
アリアちゃんの
生腔に締め付け
られて、
おちんちんが
よろこんでる……
ほほえんでるっ！！
はあはあ

ちゃぽっ

しゃぶっ

ん……

ふ……

んんん

ほよ、ここが
日本のサウナですから

ほよ

!

どうしてこんな
ところに……

中はほとんど
おんなじですね

ドゥニユク

あれは、アイカツ界に
降り立った妖精アイドル
双葉アリアちゃん!?

やっぱり変ですよ
サウナに水着って……

皆さん着ろって
言うんですよ

聞いたことがある、サウナの本場
フィンランドでは男女構わず
全裸でサウナが当たり前と……!

だ、大丈夫ですよ

ほよ
ありがとうございます
ございます

その確認にでも
来たというのか……?



現役アイドルの生
水着……(しかもかなり
キワドイ……)

お隣、失礼
します……

は、はい……

ち、乳首も
浮いちゃってないか?
コレ?

ほよっ



このキノコ!

えっ!?



これはフィンランドの
森で見たものと
そっくりです!

とっても美味しい
キノコ!

あ、アリアちゃんが
俺のチンコを握って……

そ、そうなの?

こうやって手でこすると
甘いシロップが出て……

……出て、
来ませんね?

詰まってるの
かな?



あ、あのアイドル
アリアちゃんが
俺のチンコを握って……

えっ—。



俺のチンコを
そんな……!!

ぷはあっ

なにか詰まってる
のでしょうか……?

のびのび
のびのび

そんなかわいいお口で
ぺろぺろするだなんて……!!

うそだろ、
アリアちゃん……



ちゃっ
ちゃく

ちゃく
ちゃく



まだ、
出ません……

ピンク色の乳首……
凄い吸引……!!

アリアちゃんのおっぱい
み……、見えっ……!!

うう……っ
もう、出るっっっ!!



アリアちゃんのおっぱい
み……、見えっ……!!

ほよ……っ



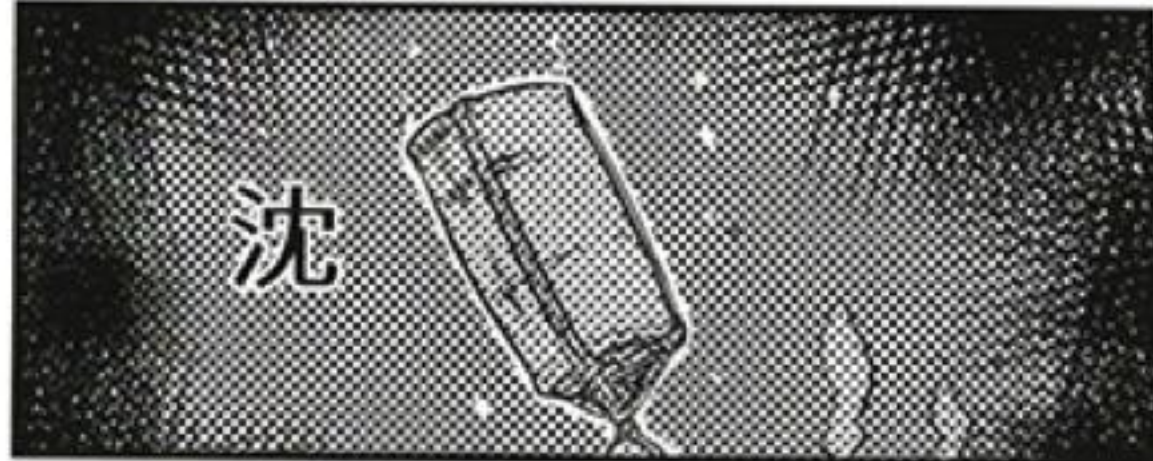
……なんか全然
美味しくないですこれ。

なんです、これ?
えっ?



屈強なVAクルーの皆さん

ええっ?



沈

あとがき

こんにちはティラヌーです。
この度は本書をお読み頂きありがとうございます。

国民的漫画「幽○白書」にて
「キャベツ畑やコウノトリを信じている女の子に無修正のポルノを
突きつける時のような快感」みたいな感じの有名な台詞があります。

これはいわゆる性的倒錯の一種で、作中でもこの言葉を発した人物は
「サイコ野郎」だの「今すぐ○してやりたい」だの散々な言われようです。
しかし僕は彼の在り方は「処女性愛」の一種だと思いますし、
その性癖の萌芽となる嗜好は多くの人が無自覚に持っている、決して
珍しくはないものと考えています。

例えば「新雪に覆われた地面に足跡を真っ先に刻み込む快感」であったり
「真っ白な何かに勢いよく塗料をぶちまける時の快感」であったり
「純粹な、綺麗なものを汚れたものに変える快感」を覚える人は多いと
思います。それは紛れもなく「処女性愛」の最初の一歩ではないでしょうか。
簡単に他人事とは割り切れない、とても身近な性癖なのではないでしょうか。

僕にとって双葉アリアというキャラクターは、そんな性的嗜好を
久しぶりに思い出させてくれる存在でした。そして今回、満を持して
素晴らしいゲスト執筆者様を招き、沸き立つ衝動の赴くまま、
この一冊を描いた次第です。

わんたっち先生、かんたか先生、どうもありがとうございます！

・ゲスト執筆者様あとがき



わんたっち (P18~19)

あーりーあーしーこーしーこーさーれーちゃーっーたー
アリアちゃん性知識皆無なのをいいことにあれこれしたいですね。

twitter:@chos69 pixivID:157945



かんたか (P20~23)

ごめんねアリアちゃん……全部君がそんな無防備やからアカン
のやで……
楽しく描けました！ありがとうございます

twitter:@kan_taka pixivID:259768

奥付

穢れた偶像

発行日 2017.12.31
発行:三万三千こいきんぐ
印刷:栄光 様
e-mail:tyranu.snake@hotmail.co.jp
twitter:jackalllllllllll pixivID:796098



三万三千こいきんぐ